

新収蔵資料の紹介

新たな収蔵資料として、2010年に次の鍵盤楽器2台が加わった。

◆プレイエル・グランド・ピアノ [Pleyel Grand Piano]

フランス・プレイエル社 1845年製

このピアノは、ショパンが所有していた最後のピアノと同型のもので、ショパンが実際に愛した音色を聴くことができる、とても貴重なピアノ。特にピアノ本体に配された「虎斑状」の模様は珍しく、当時の美しい調度芸術作品でもある。

製作年代の1845年は、ジョルジュ・サンドとの愛を育んでいた35歳のショパンが「ピアノ・ソナタ 第3番 短調 作品58」などの傑作を次々と生み出した時期にあたる。

〈サイズ〉全長：203cm、幅：129cm、高さ：94cm
〈鍵盤〉82鍵 〈音域〉 $C_1 \sim a^4$



プレイエル・グランド・ピアノ

◆田中式昭和オルガネット

日本：田中正平氏 製作 1937年（昭和12年）

音域：G \sim g³（61鍵） 幅132.5×奥行59.5×高さ91cm

日本の物理学者田中正平博士（1862-1945）が、昭和12年に製作した小型の純正調オルガン「田中式昭和オルガネット」が、民音音楽博物館 古典ピアノ室に展示される。純正調オルガンとは、「きれいな和音のひびき」を目指した楽器。

田中正平博士は、昭和7年から13年にかけて、5台の「純正調オルガン」と1台の「純正調オルガネット」を製作している。このうち、オルガネットだけは、行方が分からず、長い間消失したものとされてきたが、昨年、箏曲の正派邦楽会が所有していたことが分かり、同会より民音に寄贈された。約10カ月の修復期間を経て、晴れて展示の運びとなった。



田中式昭和オルガネット

事業報告

平成22年(2010年)は次の事業を遂行した。

1 音楽資料の収集・保存

音楽図書資料(和書・洋書)449冊、逐次刊行物60タイトル、楽譜資料(管弦楽・吹奏楽用印刷譜、作曲家個人全集等)93点、録音・映像資料(CD、DVD等)125点の資料収集を行い、民音音楽博物館のライブラリー事業として広く閲覧等の利用に供した。

2 古典ピアノ、自動演奏ピアノ、オルゴール、民族楽器の収集と “常設展示”

- 「古典ピアノ室」では、当館収蔵の古典ピアノ等(16～20世紀)を展示、当館スタッフが解説・演奏、また自動演奏ピアノを実演した。
- 「オルゴール室」では、オルゴールの歴史を概観できる代表的機種とストリート・オルガンやオートマタを展示し、実演と解説を行った。
- 「楽器展示室」では、世界各地の代表的な民族楽器(約100点)を体系的に分類展示。太鼓やスティール・ドラム、木琴等には自由に触れて音も出せる展示も行った。また、資料の演奏法等をパソコンで説明・紹介した。

3 企画展示の開催

①「ショパン生誕200年展」

開催期間/平成22年1月1日(金)～7月11日(日)

来館者数/46,857名

“ピアノの詩人”と称されるポーランドが生んだ天才作曲家フレデリック・ショパンの“生誕200年”を記念した企画展示。ショパンの左手の石膏型、ショパンと同時代のプレイエル・ピアノ、自筆譜のファクシミリ、多数の肖像画を展示すると共に、ショパンの生涯、作品、ユニークな楽曲形式、親密な交友関係、出演したコンサート会場などをパネル展示で紹介した。

後援：駐日ポーランド共和国大使館

協力：武蔵野音楽大学楽器博物館、日本ショパン協会、ショパン社



ショパン生誕200年展



子どものための世界民族楽器展(平成22年7月18日～)

②「子どものための世界民族楽器展」

開催期間／平成 22 年 7 月 18 日（日）— 9 月 5 日（日）

来館者数／ 10,317 名

夏休み恒例の親子で楽しめる民族楽器を実際に見て、触って、音を楽しめる企画展。珍しい世界の民族楽器を、アジア、アフリカ、ヨーロッパなどの地域ごとに分類して展示。古代文明発祥のエジプトやメソポタミアで奏でられた「笛」や「太鼓」が、世界の国々に伝わり広がった歴史もパネルで紹介した。

③「蓄音機とSPレコード～アコースティック・サウンドの世界」展

開催期間／平成 22 年 9 月 12 日（日）— 12 月 23 日（祝）

来館者数／ 27,775 名

トーマス・エジソンが世界で初めて蓄音機を発明してより 133 年。展示では、蓄音機の発明、技術改良によって音楽の楽しみ方がどのように変わり、音楽の世界が広がっていったかを紹介。また、蓄音機の最高傑作「ビクトローラ・クレデンザ」をはじめ、当館所蔵の蓄音機による SPレコードの音色もお楽しみいただいた。



蓄音機とSPレコード展（平成 22 年 9 月 12 日～）

4 文化講演会及び記念イベントの開催

◇「ショパン生誕 200 年展」記念 遠藤郁子 レクチャー・コンサート

開催日／平成 22 年 3 月 15 日（月） 14:00

民音音楽博物館・古典ピアノ室 参加者数：74 名

◇「ショパン生誕 200 年展」記念 リシェツキ ピアノ・コンサート

開催日／平成 22 年 3 月 25 日（木） 14:00

民音音楽博物館・ミュージアム・ホール 参加者数：151 名

◇「ショパン生誕 200 年展」記念 イエルク・デームス ピアノ・コンサート

開催日／平成 22 年 4 月 4 日（日） 18:30

民音音楽博物館・古典ピアノ室 参加者数：73 名

平成 22 年 4 月 5 日（月） 11:00

民音音楽博物館・古典ピアノ室 参加者数：67 名

平成 22 年 4 月 5 日（月） 14:00

民音音楽博物館・古典ピアノ室 参加者数：65 名

◇「ショパン生誕 200 年展」記念文化講演会

『ショパンと私～私流ショパンピアノ音楽作品の聴きどころおよびピアニストをめぐって～』

講師／新渡戸常憲氏（音楽学博士、音楽評論家、十和田市立新渡戸記念館館長代理）

開催日／平成 22 年 5 月 10 日（日） 14:00

民音音楽博物館・古典ピアノ室 参加者数：71 名

開催日／平成 22 年 11 月 3 日（祝） 14:00

エル・パーク仙台 5F セミナーホール 参加者数：118 名

◇文化講演会「奇跡の歌声～その卓越した音楽性と教育プログラム～」

講師／フランシスコ・J・ニューネス氏(ニューヨーク市ヤングピープルズ・コーラス芸術監督)

開催日／平成22年7月31日(土) 14:00

民音音楽博物館・ミュージアムホール 参加者: 132名

5 教育支援事業の推進

①「親子のための手作り楽器音楽体験学習・音楽会」

◆講師／池田邦太郎、斉藤明子

(4日間 計8回 参加者総数340名)

開催日／平成22年3月21日(日) 10:00 / 14:00

民音音楽博物館ミュージアムホール

参加者数: 10:00/51名 14:00/47名

開催日／平成22年3月22日(月) 10:00 / 14:00

民音音楽博物館ミュージアムホール

参加者数: 10:00/28名 14:00/31名

開催日／平成22年8月28日(土) 10:00 / 14:00

民音音楽博物館ミュージアムホール

参加者数: 10:00/50名 14:00/52名

開催日: 平成22年8月29日(日) 10:00 / 14:00

民音音楽博物館ミュージアムホール

参加者数: 10:00/39名 14:00/42名

②「総合学習」

高等学校2校10名、中学校24校168名、計26校178名の総合学習及び修学旅行生への見学学習支援を行った。

③「学芸員研修者受け入れ」

[学芸員博物館実務研修生]

聖心女子大学1名、日本女子大学1名、川村学園女子大学2名

専修大学1名、桜美林大学1名、静岡大学3名 (計6大学9名)

[学芸員見学研修生]

宮城学院女子大学(学芸員コース学生)8名

④「大学ゼミ・教師等見学受け入れ」

慶応大学、明治大学等15校125名

6 関係諸機関との相互協力活動

音楽図書館協議会、日本図書館協会、専門図書館協議会、日本博物館協会、国際博物館会議、国際音楽資料情報協会、国際図書館協会連盟、学術情報センター、東京都博物館協議会等との芸術学術的協力活動を展開し、その活動の援助を行った。

7 博物館来館者

平成22年総計84,949名、平成9年9月開館当初からの累計来館者数は1,486,719名

①「団体及びサークル」

各種団体・サークル計 1,588 名の見学希望があり実施した。

②「特別見学・その他」

国内外の公的機関関係者、教育関係者、アーティスト、文化人、マスコミ関係者等 895 名見学希望があり実施した。

③「一般来館者」

一般来館者、計 82,466 名が来館見学した。

8 音楽ライブラリー事業活動

①楽譜、図書、視聴覚資料の閲覧・貸出・試聴

平成 21 年は開館日数 150 日間、8,143 名の音楽ライブラリー利用者（来館者）に資料の閲覧、貸出、視聴を実施。

②レファレンス（質問、調査依頼への回答対応）

年間 1,000 件以上の電話やメール（文書）による調査依頼に応じた。

（昭和 49 年 11 月開館以来の利用者累計は 400,412 名、平成 22 年 12 月末現在の個人登録者数 51,725 名、団体登録数 5,907 団体、2010 年 Webopac へのアクセス数 256,257 件）

9 出版活動

①「民音音楽博物館だより」（平成 22 年春・夏・秋・冬 各号 計 4 回）

②「館報」（平成 22 年 3 月第 6 号）

③企画展・展示案内：「ショパン生誕 200 年展」「子どものための世界民族楽器展」
「蓄音機と SP レコード～アコースティック・サウンドの世界」展

今後の事業予定

1 音楽資料の収集・保存

楽器、音楽図書、楽譜、録音・映像資料の収集、保存並びに活用。

2 楽器等の常設展示の開催

古典ピアノ室、オルゴール室、楽器展示室等で、それぞれの資料を展示。

3 企画展示の開催

①「輝けるロマン派の作曲家たち～

リスト生誕 200 年」展

開催期間／平成 23 年 1 月 1 日（土）～7 月 3 日（日）
ロマン派を代表する作曲家で本年生誕 200 年を迎えるフランツ・リストに焦点をあて、生涯と作品について、当館収蔵の自筆楽譜や、自筆書簡を初めて公開展示するとともに、パネル解説でわかりやすく紹介。また、ロマン派作曲家たちの自筆楽譜、自筆書簡も展示する。



リスト展（平成 23 年 1 月 1 日～）

②「子どものための世界民族楽器展」

開催期間／平成23年7月10日(日)－9月4日(日)

夏休み恒例の親子で楽しめる民族楽器を実際に見て、触って、音を楽しめる企画展。珍しい世界の民族楽器を、アジア、アフリカ、ヨーロッパなどの地域ごとに分類して展示する。

③「世界の民族楽器展～アジア編～」

開催期間／平成23年9月11日(日)－12月23日(祝)

当館が収蔵する世界の民族楽器のうちアジア各地の楽器を一挙に公開展示。実際に触って演奏できるコーナーをもうけ、民族楽器の魅力を紹介する企画展。

4 文化講演会の開催

◇文化講演会「フランス・リストとロマン派の作曲家たち」

講師：新渡戸常憲氏(音楽学博士、音楽評論家、十和田市立新渡戸記念館館長代理)

開催日／平成23年3月7日(月) 14:00

民音音楽博物館・ミュージアムホール

所蔵資料

■所蔵資料概数(平成22年12月末現在)

- ① 古典ピアノ・自動演奏ピアノ・オルゴール等 70点
- ② 民族楽器 660点
- ③ 視聴覚資料 12万点
- ④ 楽譜 4万7千点
- ⑤ 図書 3万6千点
- ⑥ 自動演奏ピアノ用ロール 1133巻
- ⑦ オーケストリオン用ロール 114巻
- ⑧ ミュージックボックス用ディスク 212枚
- ⑨ 美術品、写真等の音楽関連資料 11万点

民音音楽博物館館報 第7号

発行日：平成23年3月31日

編集：財団法人民主音楽協会 民音音楽博物館

〒160-8588 東京都新宿区信濃町8番地

Tel 03-5362-3555 Fax 03-5362-3556

Homepage <http://museum.min-on.or.jp/>

E-mail m-lib@min-on.or.jp

